

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-284922

(43)公開日 平成6年(1994)10月11日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

A 4 5 D 8/00

識別記号

C

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数 6 F D (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平5-95433

(22)出願日

平成5年(1993)3月30日

(71)出願人 591157682

日本シンク株式会社

埼玉県新座市畑中1丁目10番26号

(72)発明者

辻 岡 広 宜

埼玉県新座市畑中1丁目10番26号 日本シンク株式会社内

(74)代理人

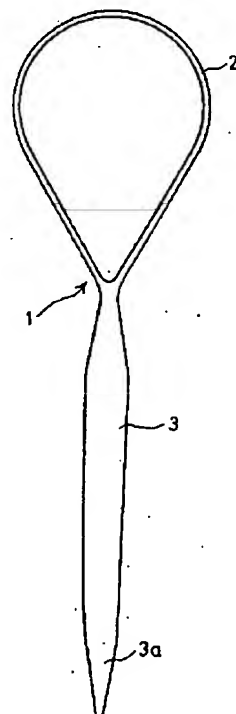
弁理士 佐藤 英昭

(54)【発明の名称】 髪結具

(57)【要約】

【目的】 自分一人による簡単な手段及び操作でも種々の魅惑的な髪形を造れるようにした髪結具を提供する。

【構成】 弾性部材で形成されたループ状の髪通し穴部2と、この髪通し穴部2と一体に形成され適宜の長さを有する髪挿し部3とからなることを特徴とする。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 弾性部材で形成されたループ状の髪通し穴部と、この髪通し穴部と一体に形成され適宜の長さを有する髪挿し部とからなることを特徴とする髪結具。

【請求項2】 前記髪通し穴部と前記髪挿し部とがプラスチックで一体成形されている請求項1記載の髪結具。

【請求項3】 少なくとも前記髪通し穴部がプラスチック製である請求項1記載の髪結具。

【請求項4】 少なくとも前記髪通し穴部がゴム製である請求項1記載の髪結具。

【請求項5】 前記髪挿し部が扁平で細長板状であって且つ基端側が緩い尖鋭状となっている請求項1記載の髪結具。

【請求項6】 前記髪通し穴部が2個である請求項1記載の髪結具。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、簡単な手段及び操作により、種々の魅惑的な髪形を造ることができる髪結具に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、魅惑的な髪形は女性にとって極めて憧れの的となるものであるが、この魅惑的な髪形を得るためには、美容院へ行って手間隙を掛けているのが通常である。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、美容院へ行って髪形を整えたり変えたりすることは、費用が掛かったり、時間が掛かったりして大変であるという問題がある。従って、折角髪を伸ばしたりして素敵な髪をしていても、毎日簡単な手操作で済ましたりして平凡な髪形で日常生活を送る女性が大部分を占めるのが現状であり、画期的な髪結具の出現が望まれ問題となっている。

【0004】本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、簡単な手段及び操作により、自分一人でも種々の魅惑的な髪形を造ることができる髪結具を提供することを目的とするものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明は、弾性部材で形成されたループ状の髪通し穴部と、この髪通し穴部と一体に形成され適宜の長さを有する髪挿し部とからなることを特徴とするものである。そして、髪通し穴部と髪挿し部とはプラスチックで一体成形されていてもよい。また、少なくとも髪通し穴部はプラスチック若しくはゴム製であってもよい。また、髪挿し部は扁平で細長板状であって且つ基端側が緩い尖鋭状となっていてよい。さらに、髪通し穴部が2個あるものであってもよい。

## 【0006】

【作用】上記構成とすることにより、ポニーテイル（う

2

しろで束ねた下げ髪）の弾性バンド附近の根元の髪中へ挿すための髪挿し部を上から差し込むと共に、上に出ている髪を通すための髪通し穴部へポニーテイルの下端側の束を通した後、髪挿し部の基端側を把持して引っ張って下方へ抜くと、ポニーテイルの両側の髪がうしろ中央部に向って集束する恰好となると共に、その中央部のうしろ側に弾性バンドが隠れ、且つその中央部のうしろ側から髪が下がつて全体として極めて魅惑的な髪形となる。また、ポニーテイルを最初から上下二本にして上記と同様にすれば、また違った魅惑的な髪形になるし、ポニーテイルの弾性バンド附近の根元の髪中に髪挿し部を下から差し込んで、下方の髪通し穴部へポニーテイルの下端側の束を通して、上方へ抜くと、これもまた違った魅惑的な髪形になるなど、種々の素敵なヘアスタイルを楽しむことができる。

## 【0007】

【実施例】以下、本発明に係る実施例を図に基づいて説明する。図1は本発明に係る一実施例の正面図、図2は図1の側面図、図3乃至図6は使用状態を説明するための斜視図、図7は使用後の完成した髪形の斜視図、図8は本発明に係る他の実施例の正面図、図9は本発明に係るさらに他の実施例の正面図である。

【0008】図1及び図2において本実施例に係る髪結具1は、髪を通すためのループ状の髪通し穴部2と、髪へ挿すための適宜の長さを有する髪挿し部3とから構成されている。そして、髪通し穴部2と髪挿し部3とはプラスチックによる一体成形であり、髪結具1においては全体が同材質で製作されている。

【0009】しかしながら、髪通し穴部2はそのループを形成する周囲が細いため弾性を有しているのに対し、髪挿し部3は扁平で細長板状であるが、ある程度幅及び厚さがあるため堅固な造りとなっている。そして、髪挿し部3においては基端3a側が緩い尖鋭状となっており、髪に挿し易くなっている。なお、髪通し穴部2は弾性を有しているから、髪から抜くときに、ループ形状が細長く撓むことにより、スムーズに髪を通すことができ、髪に痛さを感じたり、髪を傷めたりしないようになっていると共に、使用後は元の状態に戻るようになっていて便利な構成となっている。

【0010】次に、髪結具1の使用方法を説明する。まず、ポニーテイル5の弾性バンド6附近の根元の髪中に髪挿し部3を上から差し込む（図3参照）。次に、上に出ている髪通し穴部2へポニーテイル5の下端側の束5aを通す（図4参照）。次いで、髪挿し部3の基端3a側を把持して弾性バンド6のうしろ側から引っ張る（図5参照）。そして髪結具1を抜く（図6参照）。

【0011】そうすると、ポニーテイル5の両側の髪がうしろ中央部に向かって集束する恰好となると共に、その中央部のうしろ側に弾性バンド6が隠れ、且つその中央部のうしろ側から髪が下がつて素敵な髪形のでき上がり

となる(図7参照)。

【0012】図1乃至図7は、本実施例に係る髪結具1を使用して魅惑的な髪形を造る一例であるが、同様にして種々の魅惑的な髪形を造ることができる。例えば、ポニーテール5の根元に髪結具1を斜めに差し込んで抜くと、また趣きの異なった素敵な髪形になるし、前述したのとは反対に、ポニーテール5の弾性バンド6附近の根元の髪中に髪挿し部3を下から差し込んで、下方に位置する髪通し穴部2へポニーテール5の下端側の束5aを

通して上方へ抜くと、これもまた趣きの異なった魅惑的な髪形が完成される。

【0013】さらには、ポニーテール5を最初から上下二本にしておき、そのそれぞれに前述と同様の操作を施せば、やはり素敵な髪形が得られる。また、ヘッドバンドと併用してもよいし、ポニーテールを編んだものにも良く合う。そしてさらには、ポニーテールに限らず、例えばバビイヤーズ(子犬の耳)の形に下げた髪にも本実施例に係る髪結具1は極めて効果的で、やはり独特の魅惑的な髪形を造ることができる。

【0014】このように、髪結具1を使用すれば、種々の魅惑的な髪形が自分一人の簡単な操作で即座に造れることとなる。即ち、毎日髪形を変えたりできるので、毎日を楽しみ気持ちよく送ることも多いに貢献できるものである。

【0015】なお、本実施例における髪結具1はプラスチックの一体成形品であるが、これに限定されるものではなく、全体が皮革製でもよく、また、髪通し穴部のみがプラスチックやゴム製であって、髪挿し部の方は木や金属製であるようなものでもよい。また、髪通し穴部のループ形状は玉子形でも電球形でもよく、髪挿し部も細長板状に限らず棒状でもよい。また、図8に示す髪結具7のように、髪通し穴部7aの頂部が凸リング部7bと

なるようになっているものでもよい。

【0016】さらに述べると、髪通し穴部は1個だけのものに限定されるものではなく、図9に示す髪結具8のように、2個の髪通し穴部9を有するようなものでもよい。髪通し穴部が2個のものは、髪通し穴部が1個のものとその作用は同じであるが、髪を通し易くなる利点がある。なお、髪通し穴部が3個以上あるものでもよい。また、本発明に係る髪結具は、ペーパーナイフ、耳掻き、或いは鉋等にも利用できる。

#### 【0017】

【発明の効果】以上述べた如く、本発明によれば、種々の魅惑的な髪形が自分一人の簡単な操作で即座に造れることとなり、極めて便利なものとしてできると共に、毎日を楽しみ送ることも多いに貢献できるものとしてすることができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る一実施例の正面図である。

【図2】図1の側面図である。

【図3】初期の使用状態を示す斜視図である。

【図4】図3の次の使用状態を示す斜視図である。

【図5】図4の次の使用状態を示す斜視図である。

【図6】図5の次の使用状態を示す斜視図である。

【図7】使用後の完成した髪形の斜視図である。

【図8】本発明に係る他の実施例の正面図である。

【図9】本発明に係るさらに他の実施例の正面図である。

#### 【符号の説明】

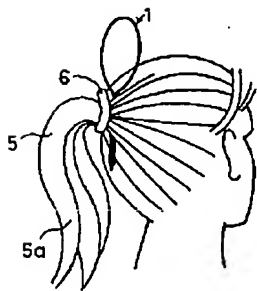
1, 7, 8 髪結具

2, 9 髪通し穴部

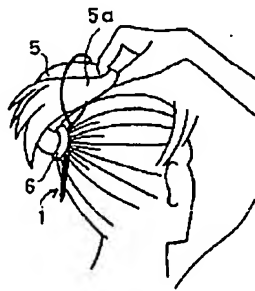
3 髪挿し部

3a 基端

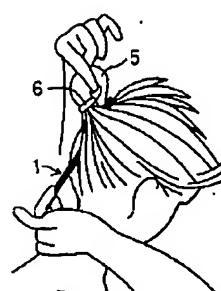
【図3】



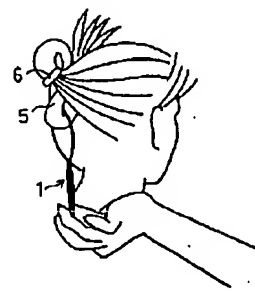
【図4】



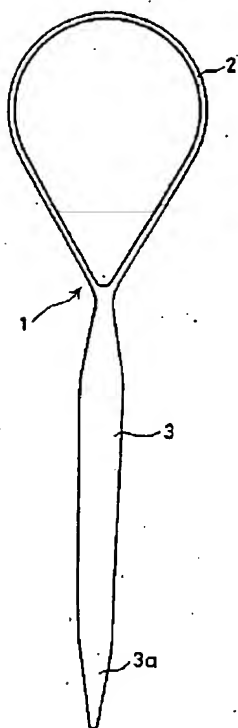
【図5】



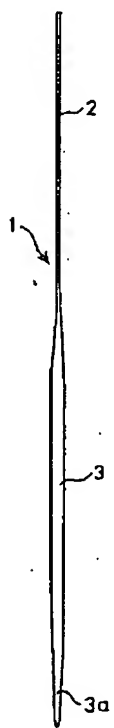
【図6】



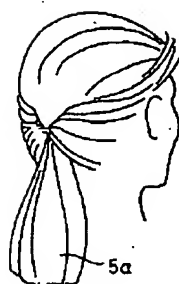
【図1】



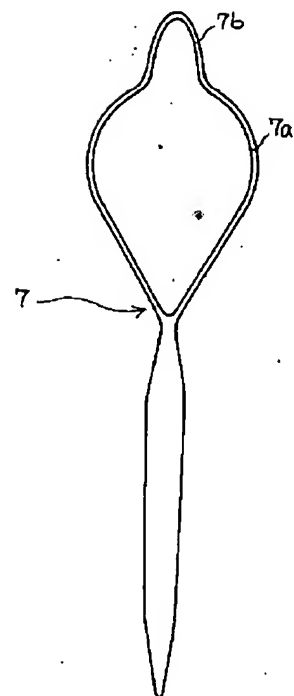
【図2】



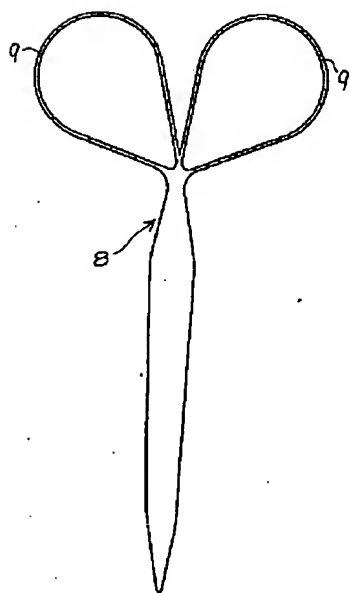
【図7】



【図8】



【図9】



PAT-NO: JP406284922A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06284922 A  
TITLE: HAIRDRESSING IMPLEMENT  
PUBN-DATE: October 11, 1994

INVENTOR-INFORMATION:  
NAME  
TSUJIOKA, HIROYOSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:  
NAME COUNTRY  
NIPPON SHINKU KK N/A

APPL-NO: JP05095433  
APPL-DATE: March 30, 1993

INT-CL (IPC): A45D008/00  
US-CL-CURRENT: 132/273

ABSTRACT:

PURPOSE: To create various attractive hairstyles with simple means and operation even for oneself by providing an implement with a loop-like hair passing hole 2 formed by an elastic member and an inserting portion integral therewith having a proper length for inserting into hair.

CONSTITUTION: The hair passing hole 2 in a hairdressing implement 1 and an inserting portion 3 to be inserted into hair are unitedly formed as a plastic mold, and a base end 3a side of the inserting portion 3 being gently pointed to make its insertion easy. First, the hair passing portion 3 is inserted from above into the hair near an elastic band 6 at the root of a ponytail, then the bundle 5a thereof at the lower end side of the ponytail 5 is passed

through the  
hair passing hole 2 above. Next, while the base end 3a of the  
inserting  
portion 3 is held, the hair is pulled from the rear side of the  
plastic band 6,  
and the hairdressing implement 1 is pulled out. By so doing, the  
hairs on both  
sides of the ponytail 5 are converged at the rear central portion,  
where the  
elastic band 6 is hidden, and the hair drops from behind the rear  
central.  
portion, resulting in a lovely hairstyle.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO